

## 海外データセンター間APN接続

グローバルにおいて、APNを用いてデータセンター間を接続することにより、郊外のデータセンター活用を実現します  
#業務効率化 #レジリエンス #グリーントランスフォーメーション



### ///技術課題

地理的に離れたデータセンター間を接続する場合、従来は遅延が非常に大きくなり、低遅延で接続するというニーズに応えられませんでした。

#### ---要素技術

- 低遅延・大容量の通信を実現するAPN
- 海外のファイバ・機器・規制などに対応可能な設計技術

#### ---適用ビジネス

ビジネス領域：統合ITインフラ事業

ユースケース例：分散型リアルタイムAI分析や金融分野への適用する統合ITインフラの実現

提供時期：ビジネス実証を通じて早期展開を実現

### ///研究目標

IOWN APNを活用し、都市部と郊外のデータセンターをまるで同一であるかのように活用できる統合ITインフラの構築を海外でも実現します。

#### ---市中技術差異点

- 一般的なクラウドアプリケーションの想定値よりも大幅に下回る遅延・遅延ゆらぎの実現
- 将来的に波長追加によりファイバを追加することなくお客さま要望への迅速な対応が可能